

Listening

今日はリスニングの勉強法です。

よくこんな質問をする生徒がいます。「先生、リスニングができないんですけど、もっと英語聞けば上がりますか?」。そしていつもこう答えています。「いいえ、ただ聞いていても上がりません」

リスニングが苦手な人はたくさんいますが、まずそういう人は「何ができないから自分はリスニングが苦手なのか」を考えてみてください。「話は分かるけど、選択肢読んでたら、次にいってしまっていていつもできない」であるとか「そもそも何言ってるか話がわからん」とか「単語単位ではわかるけど文単位ではわからんから予想してしまって外れる」とか色々あると思います。

そしてこれらの原因を考えた時、「できない」ことの原因は、たいていは「リスニング力」では“ない”ことがわかります。例えば、「話は分かるけど、選択肢読んでたら、次にいってしまっていていつもできない」という人は、言い換えれば「聞き取れるけど、読むのが遅い」になります。したがって、このタイプの人には「リスニング力はあるけど、速読能力がない」ということになります。「リーディング力」の問題なわけです。そしたら、これを解決するには「読む量を増やして読む速さを鍛え、一瞥して、選択肢の“概要”が把握できるようにする」ことをします。ただ英語を聞いていても改善はされません。

次に「そもそも何言ってるか話がわからん」という人。これはもっと掘り下げる必要があります。「話がわからない」のは「単語がわからないから」なのか「英語の音が認識できないから」なのか、考えてみる必要があります。例えてみると、「英語の辞書」は、単語はわかっていますが、当然、紙でできていて、聴覚も脳みそもないので、「辞書」が人の話を聞いて理解するということが不可能です。また、アメリカ人の5歳児を考えてみると、母語は英語なのでもちろん「英語の音」は認識できます。ただニュースを聞いていても話を理解することはできません。なぜなら、ニュースに出てくる単語や世の中の常識を知らないからです。このタイプの人には、「辞書」なのか「5歳児」なのか、自己分析してみてください。「辞書」タイプであれば、発音練習をしていく必要があります。英語の音が認識できないというのは、「音」がどのように声帯から発せられるか脳みそが認識できていないということなので、自分でまずは発声する必要があるわけです。「5歳児」タイプの人には、単語や世の中の常識をもっと勉強しなければなりません。どちらも「ただ英語を聞いて」いても改善はされません。

最後に「単語単位ではわかるけど文単位ではわからんから予想してしまって外れる」という人はどうでしょう? 単語は聞き取れているということは、英語の音はある程度認識できています。ただこの人の困難は「単語をつなげて文として認識できない」ことにあります。おそらく「英語を読んでいても単語単位ではわかるけど、文単位ではきちんとつながり方意識しない」人でもあると思います。このタイプの人には、まず文のつながり方を意識しなければなりませんので、文法や構文を勉強しながら、英文を和訳することからスタートします。和訳の作業が速くなってきたら、今度は、英文を読みながら同時に口頭で日本語訳を付けていきます。最後には、音声を聞きながら英文は見ずに、頭に意味が浮かぶようになっていきます。こちらも「ただ英語を聞いて」ても改善されません。

このようにリスニング能力は、ただ英語を聞いて改善されるものではありません。大切なのは自分が「どうして」できないのかを把握することです。「読む」「話す」「文法」「単語」といった他の要素に原因はあります。これらをまず見つけ、改善しながら、同時に目的意識をもって聞く量を増やすと、リスニング能力は改善されていきます。

リスニングは成果がでるまで結構時間がかかります。何個か、一般的なリスニング勉強法を紹介します。早めの時期から、以下の方法をためしてみてください。毎日そんなに時間をかける必要はありません。(10分程度でよい)

① 音読をする

その日学校で習った範囲の長文を音読する。その際に速さはゆっくりでいいので、意味を頭の中に想像しながら読む。長文の教材は、コミュ英3のでも朝学のでも参考書のでもよいが、難しいものは選ばず、自分が読みながら意味を理解しやすい程度の長文を選ぶ。リスニングで流れてくる英語は長文読解問題でできるものほど難しいもので

はないので、極端に言えば中学校3年生くらいの教科書を使ってもよい。要は、文字と意味と音を頭の中でつなげることを意識する。(2~3回)

② CDのあとについて読んでみる

→これは英語の「音」と「リズム」に“なれる”働きがあります。

加えてここでは、サイトトランスレーションという方法を紹介します。これは通訳者が最初にやる訓練でそれを高校生用に先生がアレンジしたやり方です。少し難しいので最初のうちは時間がかかりますが、慣れてくると早くなります。これをやるとリスニングだけでなく読解スピードもものすごく上がります。

おすすめ①コミュ英などの“既に習って、意味をほとんど理解している長文”を頭から声にだして訳していく練習をする→「読む速さを鍛える」

(例) コミュ英2 P32(PROVISION)→舟入は別の教科書ですね。例としてみてください。

Millions of people/ in the world/ live/ many kilometers away /from sources of safe drinking /

何百人もの人々が・・・世界にいて・・・暮らしていて・・・何キロも離れたところに暮らしていて・・・安全な飲み水の供給源から何キロも離れたところに暮らしていて・・・

water. If they drink unsafe water/, they may get a disease /that is carried through water./

もし安全でない水を飲んだら・・・彼らは病気になるかもしれない・・・どんな病気かというと・・・水から移る病気で・・・

such as cholera or dysentery.

コレラや赤痢みたいな病気・・・

●メリット

—教科書の復習ができる

—毎日10分なら10分と決めてやれば短い時間で済む

—読みながら意味を考えながら、しかも英語の語順通りに訳すにはどうしたらいいかを考えないとできないので、これを日々やることによって、後ろから帰らずに英語の語順通りに長文の黙読ができるようになる。(読解スピードがあがる)

頭から繰り上げ訳をせずに、声を出して訳していく練習をする。

(例) コミュ II P32

Millions of people in the world live many kilometers away from sources of safe drinking water...

「(Millions of people in the world を読んだらすぐに) 世界の何百万もの人々がですね・・・えー、(live many kilometers away を読んだらすぐに) その人たちは何百万キロも離れたところに住んでいてですね・・・(from sources of safe drinkable water を見たらすぐに) どこから離れているかといいますと、安全な飲み水を得られる場所からですね・・・」

ポイントは、まずスラッシュをいれて、意味の区切りを作っておく。上の例に合わせなくても、極端に言えば単語単語でくぎっていてもよい。大事なのは後ろから前に訳さずに「えー」や「その人たちは・・・」と英語の語順に合わせて訳していく

最後に、おすすめリスニングサイトを紹介します。すべて無料です。

「CNN 10」・・・毎日10秒ほどニュースが流れます。口頭で10秒なので、それを記事にすると、授業でwpm 測るときに読むくらいの量です。これを毎日訳してみてもいいかもしれません。transcript というボタンをクリックすると、放送のスク립トがでてきます

<https://edition.cnn.com/cnn10>

「CNNスチューデントニュース」・・・英語の字幕がでながら同時通訳者が日本語で通訳してくれているCNNニュースサイトです。時事ネタと英語を読みながら日本語を聞く（ピーターパンみたいな勉強の仕方）をしたいときにはこれを使いましょう

<http://www6.nhk.or.jp/kokusaihoudou/cnnsn/>

「攻略！ABCニュース英語」・・・CNNとは違う系列ですがABCニュースもアメリカの主なニュース番組の一つです。以下のサイトは、毎日1つのニュースを取り上げ、映像（日本語）で解説もしてくれます。

<http://www6.nhk.or.jp/kokusaihoudou/abcns/>

他にも色々な教材があります。もしリスニングに悩んでいる人がいれば、e-learning で個人的に質問をくださっても構いませんし、学校が始まって教科担当に相談にいてもいいと思います！自分の苦手を認識して、リスニング能力を向上させましょう！

柏原